和歌山県立
日高高等学校
SGH通信
第17号
2020年11月12日

SG 課題研究Ⅱ・フィールドワーク (2)
地域防災分野・その２

B04 班「各家庭内・各地域の備蓄の心がけと防災グッズの必要性」

活動概要

午前中は、防災グッズの中に入れる予定の保存食用カレーを実際に調理し、試食した。調理室にて湯煎可能なポリ袋を用いて米を炊き、調理過程の写真を撮り記録を残した。

午後は、自衛隊御坊地域事務所にて、災害発生時の自衛隊の支援についてお話を伺った。

事前に班で作成した防災グッズの一覧表をもとに、足りない物や必要ない物がないか、今後につながる意見をいただくこともできた。

自衛隊御坊地域事務所にて

B01 班「耐震構造模型作製」
学び：事前準備の大切さ

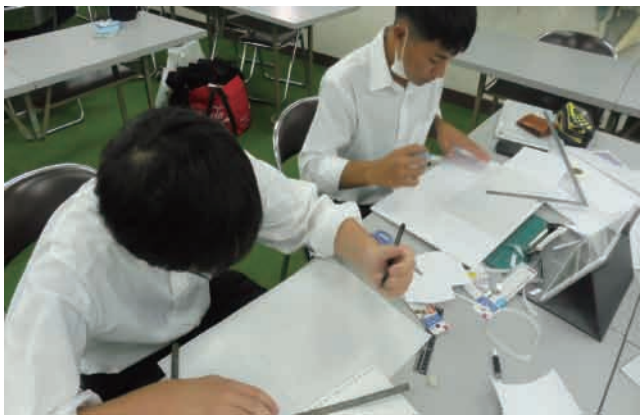
２年５組　畑下純輝

身近な物を使って家の模型を作製したが、一日の活動をとおして、事前準備の足りなさを痛感した。

買い出しでは、必要であろう量をあまり考えずに買ってしまったため、材料不足となり、途中でもう一度買い出しに行くことになった。また、設計図を書く際には、後先を考えず小さな紙に書き出してしまったため、改めて大きな紙に書く必要があった。かなり時間を無駄にしてしまったと思う。

今後はこうした無駄をなくすため、事前準備をしっかりし、起こりうる問題を予測して作業効率の向上に努めようと思う。

効率よく作業を進める能力を身につけ、将来に生かしたい。



B03 班「南海トラフの津波対策」
学び：計画を立てることの大切さ

２年４組　下田純輝

晴れで自転車が使えるという想定での予定しか立てていなかったため、当日の雨で予定がくるってしまった。雨天を想定した予定も立てていれば、もう少しスピーディーに仕事を進めることができたと思う。もう少しきちんとした計画を立てておくべきだった。

結局、徒歩で避難所の高さを見たり、目視で安全か否かの判断をするために避難所を見回りに出かけた。時間の都合で４か所だけしか行くことができなかったことも、計画の必要性を感じた瞬間であった。

計画をきちんと立てるということは、自然災害を相手にする防災にはとても重要なことだと思う。だからこそ、事前から綿密な計画を立てておくことはとても大事だと思った。